

事務事業名	こころの相談事業	事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	連絡先	330	

計	政策番号	01	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高					
			基本計画①	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業								
			基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業								
			実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0501	こころの健康								
画	予算事業名	こころの相談事業				会計コード	01	款	04	項	01	目	02	事業	07
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	<ul style="list-style-type: none"> <li>こころの健康づくりの普及啓発として、増加傾向にある自殺対策を始めとする、こころの健康についての相談や各企業を対象とした講演会を実施することにより、こころの健康についての理解と知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施する。</li> <li>こころの不調により自殺への意向を防ぐために専門家による相談を行う。</li> <li>薬物依存・アルコール依存防止のための活動を行う。</li> <li>たばこの害の啓発および禁煙支援を行う。</li> </ul>													
	現状と背景 (どうして)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺者が減少しない。</li> <li>アルコール依存症になるとそこから抜け出すのが難しく、肝機能障害や痛風を起こしている方がいる。</li> <li>たばこによる害がある。</li> <li>高齢者の自殺</li> <li>働き世代の自殺</li> </ul>													
	目的	受益者 (誰のために)	市民												
	対象 対象 (直接働きかける)	市民													
	目的 (どんな状態にしたいか)	自殺者が減少する。													
L	手段・方法 (どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の中小企業を中心に出向いてこころの健康についての講座を行う。(臨床心理士、看護師、スポーツインストラクターなど)</li> <li>自殺企図へ移行しないように専門家(臨床心理士)による面接を行う。(対面型相談)</li> <li>こころの健康について(自殺・アルコール依存・ニコチン依存)と相談場所を周知のため広報ものに記事掲載。</li> </ul>													
	A	評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
	活動指標	1	広報活動	広報	回		2								
		2	市内企業への出張講座(相談含む)	実施回数	回		10								
		3													
	変更履歴														
	成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
		1	死亡原因が自殺の率を減らす	自殺率	人口10万人当たりの自殺死亡者数	15									
		2													
	変更履歴														

実 施 状 況 考	項	目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	財 源 内 訳	事業費等(a)	円	2,146,421	2,307,782	2,468,000		
		国庫支出金	円					
		県支出金	円	943,000	1,147,000	1,241,000		
		地方債	円					
		その他特定財源	円					
		一般財源	円	1,203,421	1,160,782	1,227,000		
	活 動 指 標	広報	目標	回	2	2	2	
			実績	回	2	2		
			達成率	%	100.00	100.00	-	-
実施回数		目標	回	10	10	10		
		実績	回	7	6			
		達成率	%	70.00	60.00	-	-	
成 果 指 標	自殺率	目標	-	15	15	15		
		実績	-	11	19			
		達成率	%	140.32	126.67	-	-	
		目標	-					
	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考	厚生労働省の市町村別基礎資料が年度ではなく年の統計になっている。(2019年1月～2019年12月)							

事務事業名	こころの相談事業		事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係		連絡先		330

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果） （変異） （動向） （指標） （要因） （分析）		自殺率は社会情勢等に左右されやすいが、昨年と比べ自殺者数が減り自殺率も減った。今後も啓発活動や、相談、講座など取り組んでいき自殺者が増えないようにしていく必要がある。	自殺率は社会情勢等に左右されやすいが、昨年と比べ自殺者数が少し増えた。今後も働き盛り、高齢者への啓発活動や、相談、講座など取り組んでいき自殺者が増えないようにしていく必要がある。		
価値（C） （H） （E） （C） （K）	成果	・広報等でこころの健康や相談先の啓蒙活動ができた。企業向けのメンタルヘルス出張講座もリピートしていただいた企業もあり好評であった。働き盛りの男性に向けて啓蒙できるよい機会である。	自殺率は社会情勢等に左右されやすいが、昨年と比べ自殺者数が少し増えた。（年統計）高齢者、働き盛り世代への啓蒙活動等の活動を引き続き行っていく。			
	課題	・新規の中小企業でも開催していただけるように周知していく。広報以外でも他の情報発信方法でこころの健康や相談先などを発信していく。	・新規中小企業でのメンタルヘルス講座の開催、情報提供。商工会議所のとの連携 ・高齢者メンタルヘルスの普及啓発 ・無職者への対応			
改革・改善の方向性（ACT）	翌々年度方向性	成果 コスト	拡充 拡大	拡充 拡大		
	改革の方向性の内容	・2019年度から茅野市自殺対策行動計画を推進していく。心の健康相談、ゲートキーパー養成、企業等へのメンタルヘルス出張講座・相談の実施、心の健康や相談場所等の啓蒙活動などしていくためコストが拡充となる。他部署とも調整しながら計画推進していく。	2019年度から茅野市自殺対策行動計画を推進していく。心の健康相談、ゲートキーパー養成、企業等へのメンタルヘルス出張講座・相談の実施、心の健康や相談場所等の啓蒙活動などしていくためコストが拡充となる。他部署とも調整しながら計画推進していく。			

作成担当者	佐々木佐代子	宮下 由美子			
最終評価責任者	柳澤 澄子	斉藤 明美			
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日			